

山登りを続けていくために

菊池 俊一 准教授 KIKUCHI, Syun-ichi



キーワード： 高標高域，環境再生技術，協働

専門分野： 流域保全・再生学，治山・砂防

連絡先Email： kikku@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

研究内容

山は泣いています

夏山シーズンともなると、日本各地の山々は登山客であふれます。美しい景観を楽しむ人びとは皆、とても良い顔をしています。

ただ、その足下に目を移すと、雨の度に水が流れ地表侵食が著しく進んだ登山道に気がつきます。まるで山が泣いているかのようです。山登りはこのまま続けていけるのでしょうか。

協働による環境再生 登山道の急激な侵食に関わる自然条件(地質、地形、植生、降雨、地温など)と人的条件(登山者の踏圧や入り込み数など)の現状分析から保全対策技術の検討を行うとともに、地元住民や登山利用者、関係機関の協働による『登山利用を続けるためのシステム』づくりに取り組んでいます。



登山利用を続けるためのシステムづくり